

## 「認定ファンドレイザー資格制度」推奨機関の募集のご案内

発行：日本ファンドレイジング協会

改定：2025年10月31日

社会課題の解決を担う社会的事業の活動には、寄付・助成・融資・社会的投資など、多様な資金の循環が欠かせません。また、NPOやソーシャルビジネス等の社会的事業を推進する団体が、一過性の資金調達にとどまらず、事業や組織を戦略的に発展させていくためには、人材の力が重要です。

日本ファンドレイジング協会では、こうした人材を育成する「認定ファンドレイザー資格制度」を運営しており、本制度の理念にご賛同のうえ、推奨いただける「推奨機関」を募集しています。

貴機関の助成・融資・投資・人材育成などの活動において本資格制度を活用・推奨いただくことで、より多くの社会的事業の成長につながると考えております。

本資格制度の社会的認知をともに広げ、信頼と実績を備えたファンドレイザーの活躍を促進するパートナーとして、ぜひご参画賜りますようお願い申し上げます。

### 記

#### 【募集対象】

「認定ファンドレイザー資格制度」の趣旨に賛同し、本制度を推奨していただける財団、企業、非営利組織、金融機関、教育機関等。

#### 【募集内容】

「推奨機関」とは、本資格制度の趣旨に賛同し、様々な形で制度を推奨している団体を指します。推奨の方法は任意であり、以下のような多様な取り組みを含みます。

- 助成審査・融資判断・社会的投資の評価において、有資格者が所属していることを参考指標の一つとしている。
- 有資格者やその所属組織に対して、特別サービスや優遇制度を提供している。
- 所属職員や関係団体に対し、資格取得に伴う研修費支援や、取得時の待遇・手当の優遇を行っている。

#### 【本制度の目的】

NPOやソーシャルビジネス等の社会的事業を推進する団体が、寄付・助成・融資・社会的投資等を、一過性の資金の調達に留まらず、組織と事業そのものの成長につなげることを目指すものです。

#### 【認定ファンドレイザー資格制度が重視すること】

認定ファンドレイザー資格制度は、ファンドレイジングに関する体系的な知識の習得だけでなく、「ファンドレイジング行動基準」や「寄付者の権利宣言」を遵守する姿勢を重視しています。認定ファンドレイザー・准認定ファンドレイザーともに、資格認定にあたっては、研修の受講や試験の合格に加えて、倫理署名を提出いただくことが必須となっており、専門性と倫理性の両面を備えた人材の育成を目的としています。

## 【募集から当協会での紹介までの流れ】

推奨機関としてご賛同いただける場合は、フォームよりお申し込みをお願いします。

<https://forms.gle/AmJeetA8pJvegEFd9>

1. お問い合わせ先まで以下の情報をご連絡ください。

a. 推奨の内容を確認できるもの

以下のいずれか、または複数に該当する内容をお知らせください。

(推奨内容の記入例) ※フォームに入力いただく際の参考にしてください。

- 例①ウェブサイトのURLをご記入ください。  
「当団体は日本ファンドレイジング協会が運営する『認定ファンドレイザー資格制度』を推奨しています」という記載があるウェブサイトのURLをご記入ください。
- 例②書類名や評価項目の詳細をご記入ください。  
「認定ファンドレイザー資格を有する職員の有無」を確認している、助成金申請書や融資・社会的投資関連の書類名と項目名をご記入ください。
- 例③情報発信や社内制度の詳細をご記入ください。  
職員向けの資料や、関係団体へのご案内資料などで、「資格取得への優遇や手当、研修支援制度」などを記載している箇所の概要をご記入ください。

b. 推奨機関名

c. 担当者情報(お名前、メールアドレス)

d. 推奨機関としての掲載情報(ロゴ、ロゴからの遷移先URL)

2. 当協会にて内容を確認のうえ、推奨の趣旨に沿うことを双方で確認・合意したうえで、当協会のウェブサイトや資格制度説明会等にて「推奨機関」としてご紹介いたします。

3. 推奨の内容に変更がある場合は、当協会までご連絡ください。また、当協会からも定期的にご確認のご連絡を差し上げる場合があります。

## 【お問い合わせ先】

日本ファンドレイジング協会

担当: チーフオフィサー 大石 芳子

〒107-0052 東京都港区赤坂8-4-14 青山タワープレイス8F fabbit青山内

メール: [jfra@ifra.jp](mailto:jfra@ifra.jp)

本制度の趣旨をご理解いただき、推奨機関としてご参画賜りますようお願い申し上げます。

ご不明な点等ございましたら、上記までお問い合わせください。

以上